

---

---

四国中央市 子育て支援に関するアンケート調査  
報告書

---

---

－ 概要版 －

令和6（2024）年7月  
愛媛県 四国中央市

## ～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 調査結果	2
1 保護者の就労形態	2
2 フルタイムへの転換希望	3
3 今後の就労意向	3
4 施設やサービスの利用状況	4
5 利用している施設やサービス	4
6 施設やサービスの今後の利用希望	5
7 18時30分以降の延長利用希望	5
8 子育て支援センターの利用状況	6
9 子育て支援センターの利用希望	6
10 土・日・祝日の施設やサービスの利用希望	7
11 長期休暇中の施設やサービスの利用希望	7
12 病気やけがのときの対応について	8
13 病児・病後児のための保育施設等の利用希望	8
14 一時預かりなどの利用状況	9
15 一時預かりなどの事業の利用希望	9
16 小学校入学後に希望する放課後の過ごし方	10
17 放課後児童クラブの利用有無	10
18 放課後児童クラブへの要望	11
19 放課後児童クラブの利用希望	11
20 放課後児童クラブを利用したい学年	12
21 育児休業取得状況	12
22 妊娠中や出産後の育児等への不安	13
23 市が力を入れるべき母子保健事業	14
24 子育てに関する相談先	15
25 子育てに関する情報の入手先	16
26 子育てに関する悩み	17
27 子育てに関する不安や負担感	18
28 近所の人との付き合い程度	18
29 孤立感	18
30 地域の人や社会からの支援意識	19
31 子育てのしやすさ	19
32 永住意向	19
33 子育てしやすいまちにするために必要だと思う支援	20

# I 調査の概要

## 【調査の目的】

本調査は「四国中央市こども計画」の策定にあたり、市内の就学前児童及び小学生を持つ保護者に対し、現在の就労状況や教育・保育事業の利用状況及び今後の利用希望や子育てニーズ等を調査し、子育て支援施策の検討に資することを目的として実施した。

アンケートの調査内容については「国のモデル調査票」を踏まえ、それに本市独自の設問を加えて設計している。

## 【調査設計】

調査地域：四国中央市全域

調査対象：就学前児童／市内に居住する0歳から小学校入学前までの子どもがいる家庭  
小学生／市内に居住する小学生の子どもがいる家庭

調査方法：郵送配布～郵送回収、インターネットによる回答

調査期間：令和6（2024）年5月

## 【回収結果】

	標本数(配布数)	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,500	903 (郵送:505、Web:398)	60.2%
小学生	500	250 (郵送:96、Web:154)	50.0%
合計	2,000	1,153 (郵送:601、Web:552)	57.7%

## 【地域別回収結果】（問1回答結果より）

	就学前児童		小学生	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
川之江地域	349	38.6	100	40.0
三島地域	392	43.4	101	40.4
土居地域	143	15.8	46	18.4
新宮地域	5	0.6	1	0.4
無回答	14	1.6	2	0.8
合計	903	100.0	250	100.0

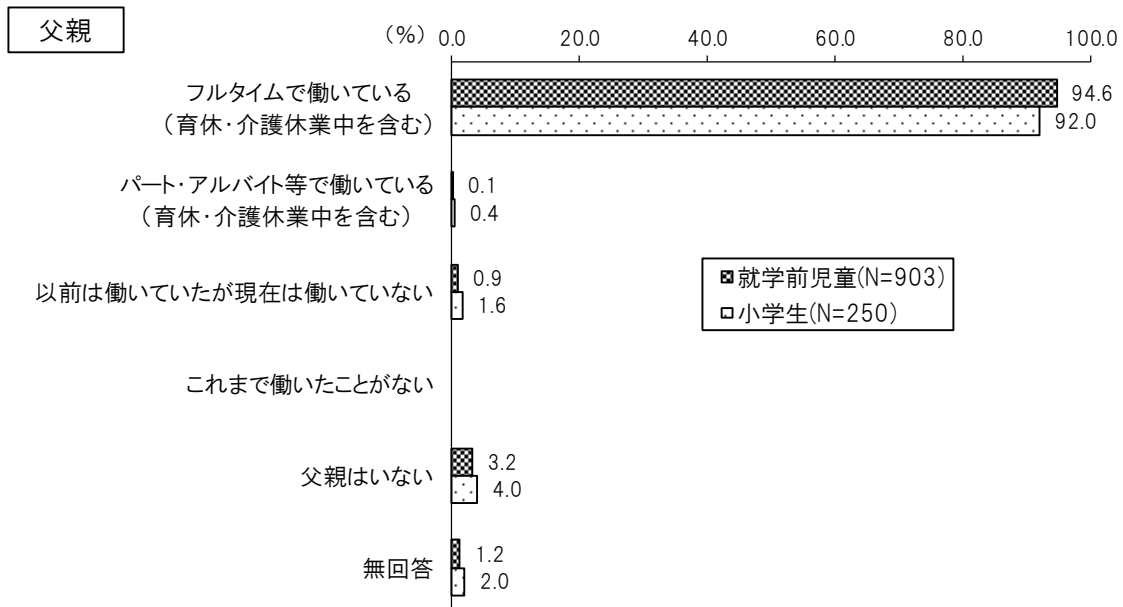
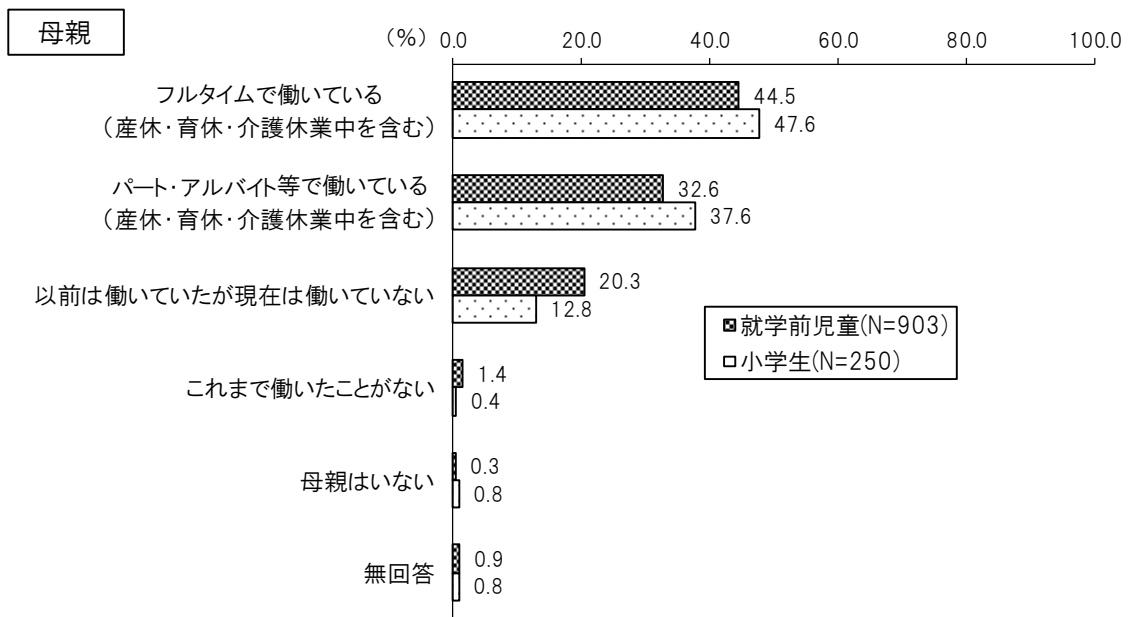
## 【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 設問番号の「就」は就学前児童の設問番号、「小」は小学生の設問番号を示している。

## II 調査結果

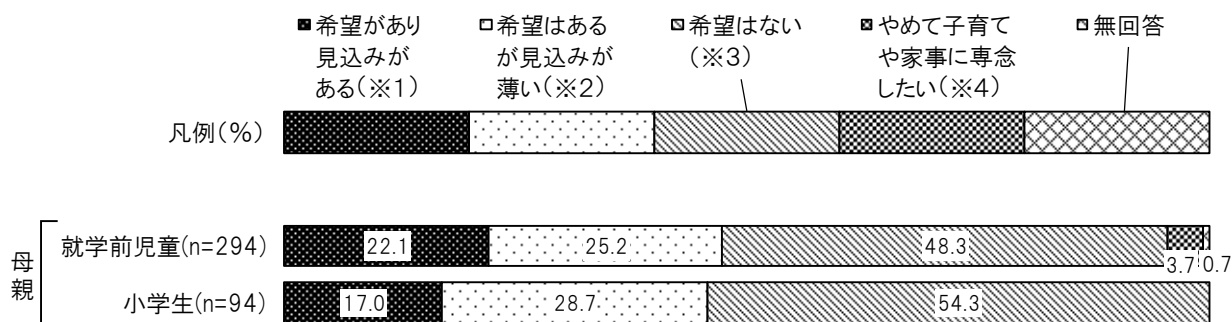
### 1 保護者の就労形態

母親については、大半が就労しており、フルタイムが4割以上、パート・アルバイト等が3割以上となっている。また、「以前は働いていたが現在は働いていない」割合は就学前児童で2割（20.3%）、小学生で1割程度（12.8%）となっている。父親については、大半がフルタイムで勤務している。



## 2 フルタイムへの転換希望

現在、パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望（「希望があり、フルタイムになれる見込みがある」「希望はあるものの、フルタイムになれる見込みが薄い」の合計）については、就学前児童で47.3%、小学生で45.7%となっている<sup>注</sup>。



※1：希望があり、フルタイムになれる見込みがある

※2：希望はあるものの、フルタイムになれる見込みが薄い

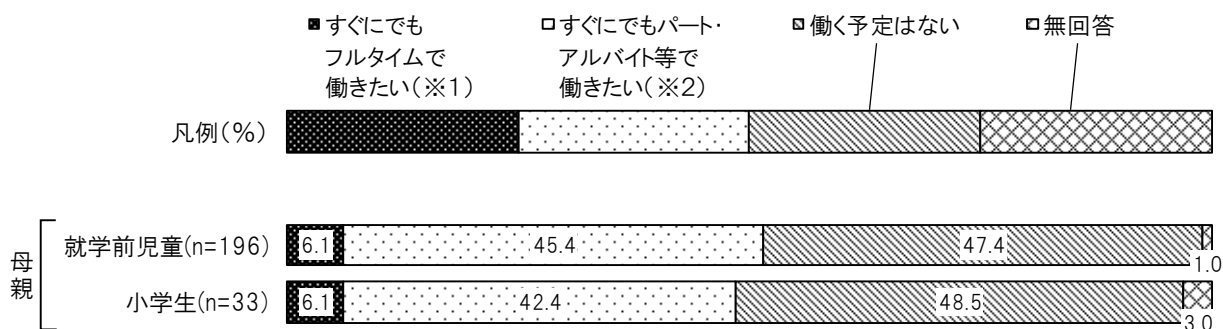
※3：希望はない（パート・アルバイト等のままで良い）

※4：仕事をやめて子育てや家事に専念したい

注：就学前児童及び小学生の父親については、「希望はあるものの、フルタイムになれる見込みが薄い」がそれぞれ1件みられた。

## 3 今後の就労意向

現在、就労していない母親の就労意向については、就学前児童の母親で「すぐにでも、又は1年以内にフルタイムで働きたい」が6.1%、「すぐにでも、又は1年以内にパート・アルバイト等で働きたい」が45.4%となっており、合計で就労意向は約半数(51.5%)を占めている。一方、母親の半数近くが「働く予定はない」と回答している<sup>注</sup>。



※1：すぐにでも、又は1年以内にフルタイムで働きたい

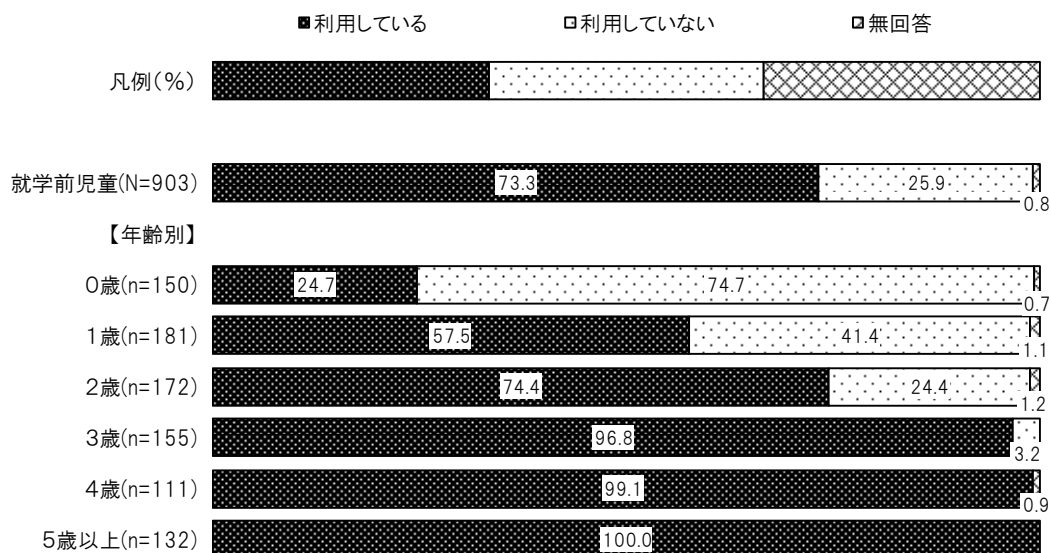
※2：すぐにでも、又は1年以内にパート・アルバイト等で働きたい

注1：就学前児童の父親については、「すぐにでも、又は1年以内にフルタイムで働きたい」が4件、「すぐにでも、又は1年以内にパート・アルバイト等で働きたい」が1件みられた。

注2：小学生の父親については、「すぐにでも、又は1年以内にフルタイムで働きたい」「すぐにでも、又は1年以内にパート・アルバイト等で働きたい」がそれぞれ1件みられた。

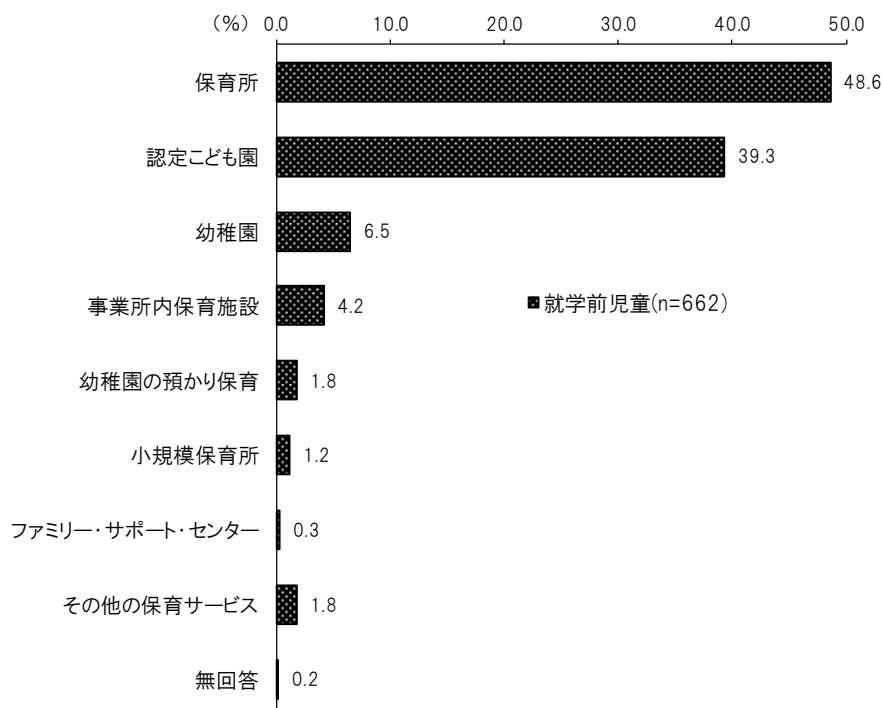
## 4 施設やサービスの利用状況

7割以上(73.3%)の子どもが、幼稚園や保育所、認定こども園等の施設やサービスを利用しており、4人に1人(25.9%)が「利用していない」と回答している。また、3歳以上になると、ほとんどの子どもが利用している。



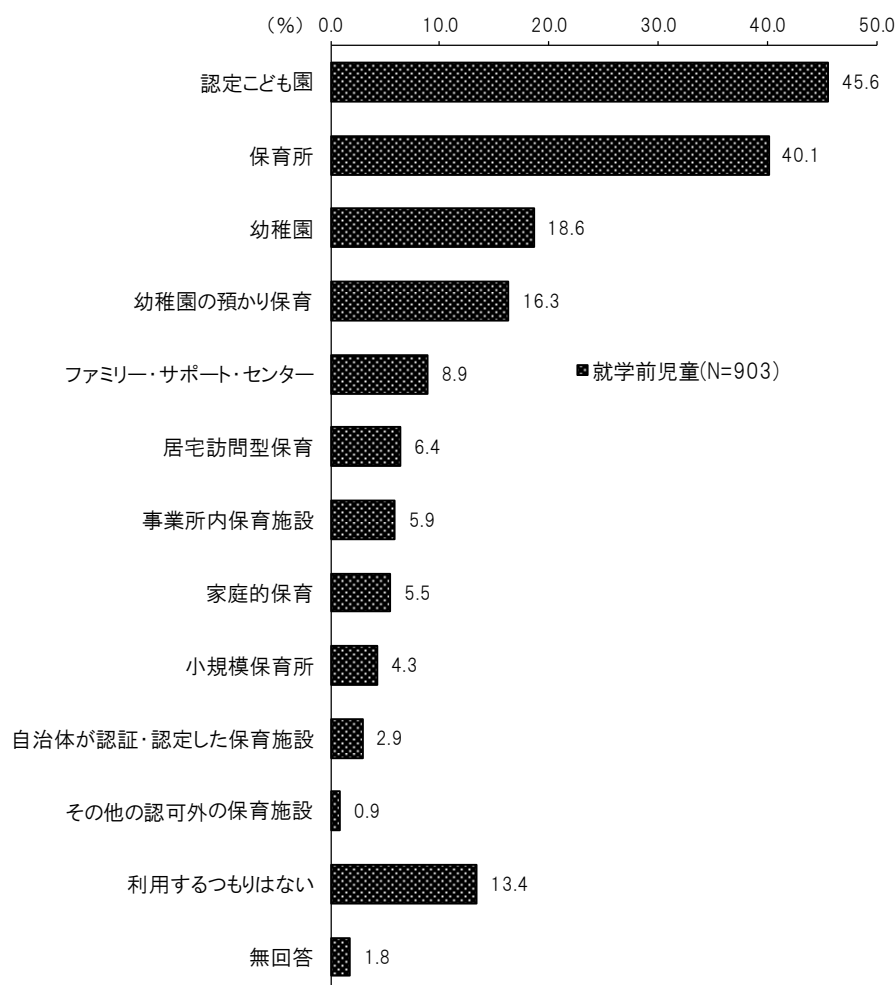
## 5 利用している施設やサービス

「保育所」の割合が48.6%と最も高く、次いで「認定こども園」(39.3%)、「幼稚園」(6.5%)、「事業所内保育施設」(4.2%)が続いている。



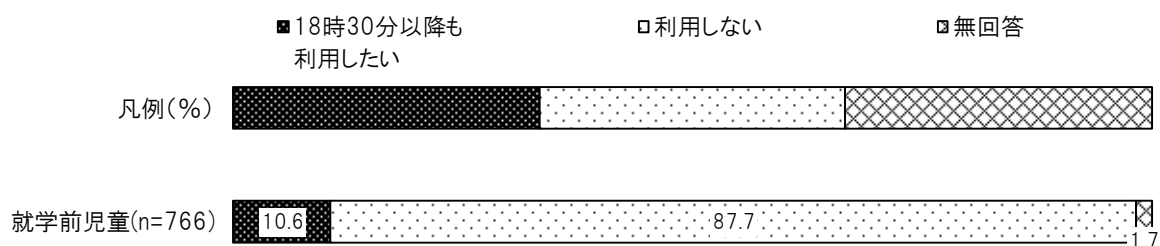
## 6 施設やサービスの今後の利用希望

施設やサービスの今後の利用希望については、「認定こども園」の割合が45.6%と最も高く、次いで「保育所」(40.1%)、「幼稚園」(18.6%)、「幼稚園の預かり保育」(16.3%)の順となっている。一方、「利用するつもりはない」は13.4%となっている。



## 7 18時30分以降の延長利用希望

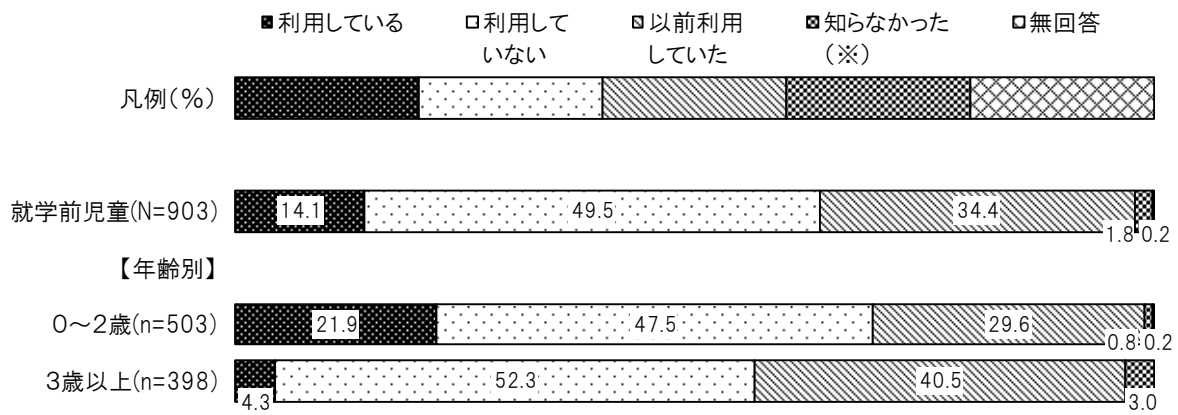
延長利用希望については、「18時30分以降も利用したい」が10.6%、「利用しない」が87.7%となっている。



## 8 子育て支援センターの利用状況

子育て支援センターの利用状況については、「利用している」が14.1%、「利用していない」が49.5%、「以前利用していた」が34.4%となっている。

年齢別では、0～2歳は3歳以上に比べ「利用している」の割合が高くなっている。

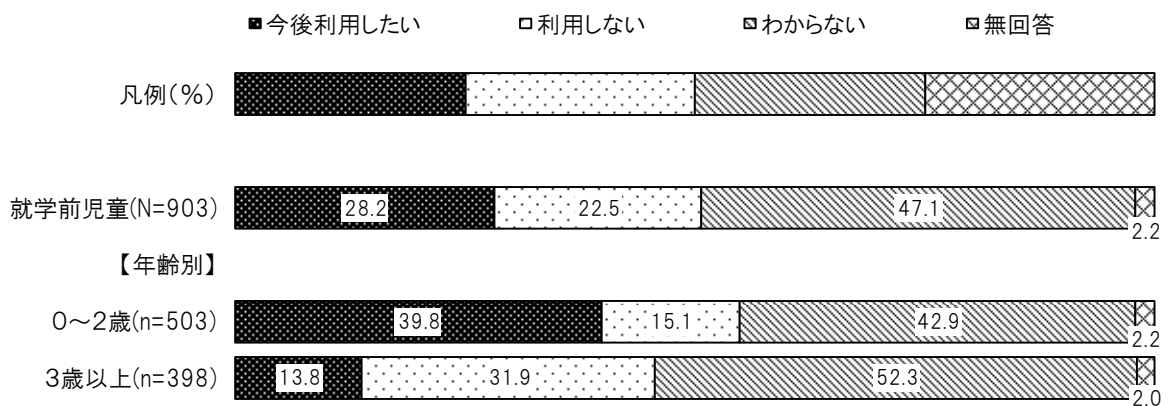


※子育て支援センターがあることを知らなかった

## 9 子育て支援センターの利用希望

子育て支援センターの利用希望については、「今後利用したい」が28.2%、「利用しない」が22.5%、「わからない」が47.1%となっている。

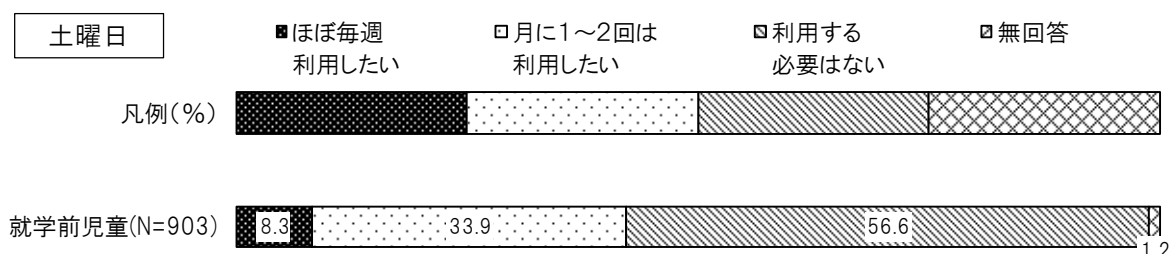
年齢別では、0～2歳で「今後利用したい」、3歳以上で「利用しない」の割合がそれぞれ高くなっている。



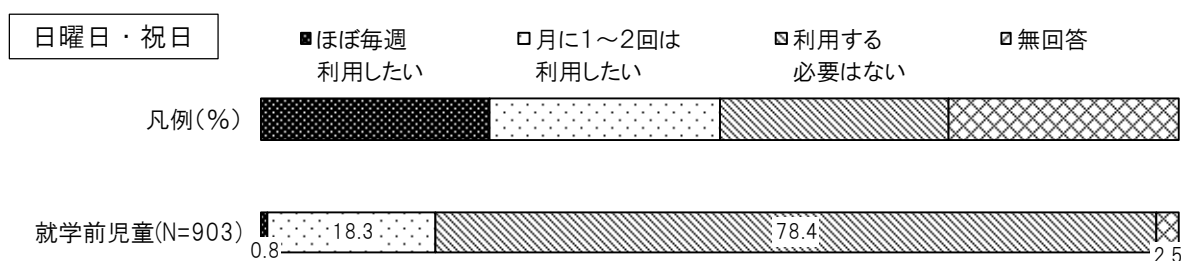


## 10 土・日・祝日の施設やサービスの利用希望

土曜日の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」が 8.3%、「月に1～2回は利用したい」が 33.9%、合計で 42.2%が『利用したい』と回答している。一方、半数以上（56.6%）が「利用する必要はない」と回答している。

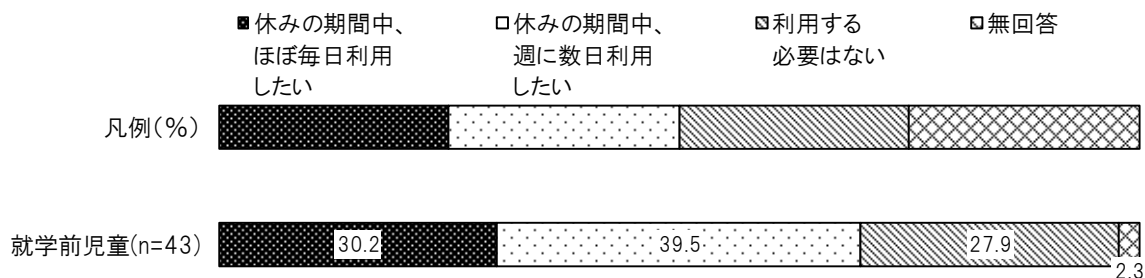


日曜日・祝日の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」が 0.8%、「月に1～2回は利用したい」が 18.3%、合計で 19.1%が『利用したい』と回答している。一方、「利用する必要はない」は 78.4%となっている。



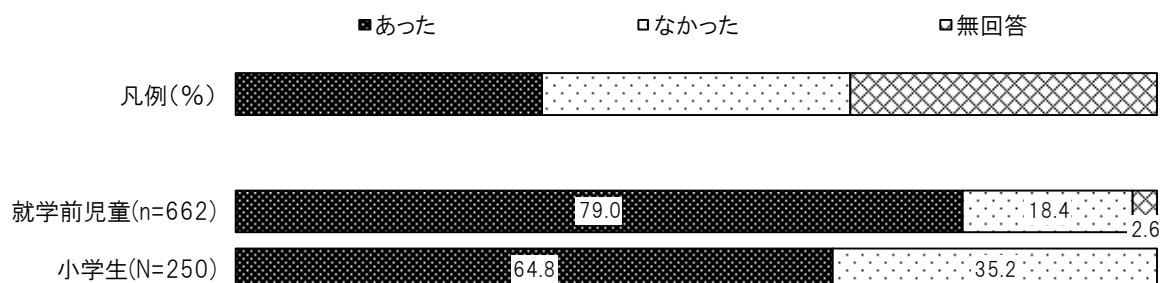
## 11 長期休暇中の施設やサービスの利用希望

幼稚園利用者における長期休暇中の施設やサービスの利用希望については、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 30.2%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 39.5%、合計で約7割（69.7%）が『利用したい』と回答している。



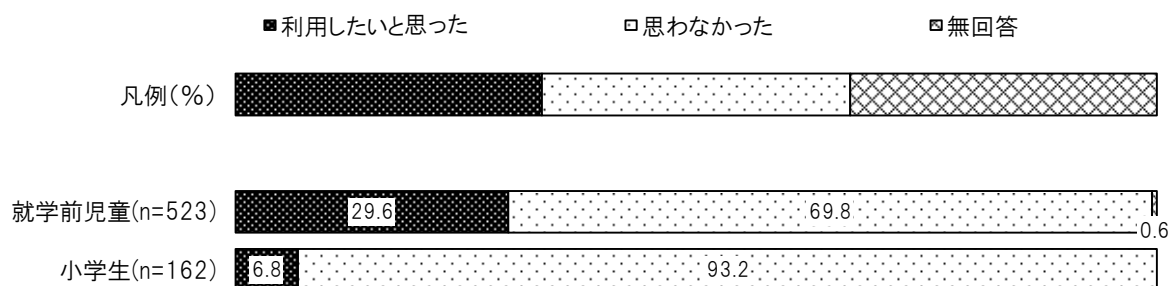
## 12 病気やけがのときの対応について

病気やけがで保育所や幼稚園、学校等に通学できなかった割合は、就学前児童で79.0%、小学生で64.8%となっている。



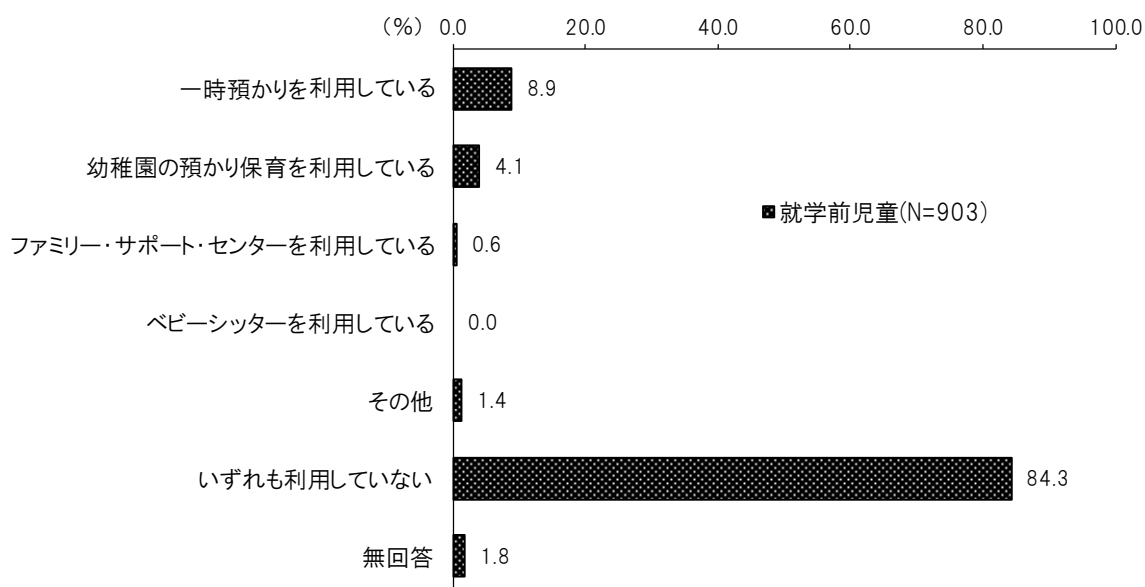
## 13 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

病児・病後児のための保育施設等を「利用したいと思った」割合は、就学前児童で29.6%、小学生で6.8%となっている。



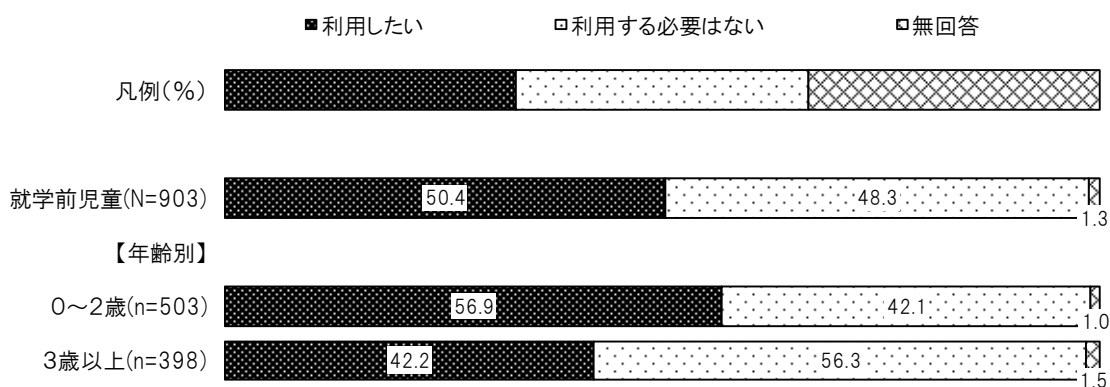
## 14 一時預かりなどの利用状況

保護者の私用や通院、突発的な仕事や冠婚葬祭などの理由で、子どもを一時的に預けなければならない場合、「一時預かりを利用している」割合が 8.9%、「幼稚園の預かり保育を利用している」が 4.1%となっているが、大半（84.3%）が「いずれも利用していない」と回答している。



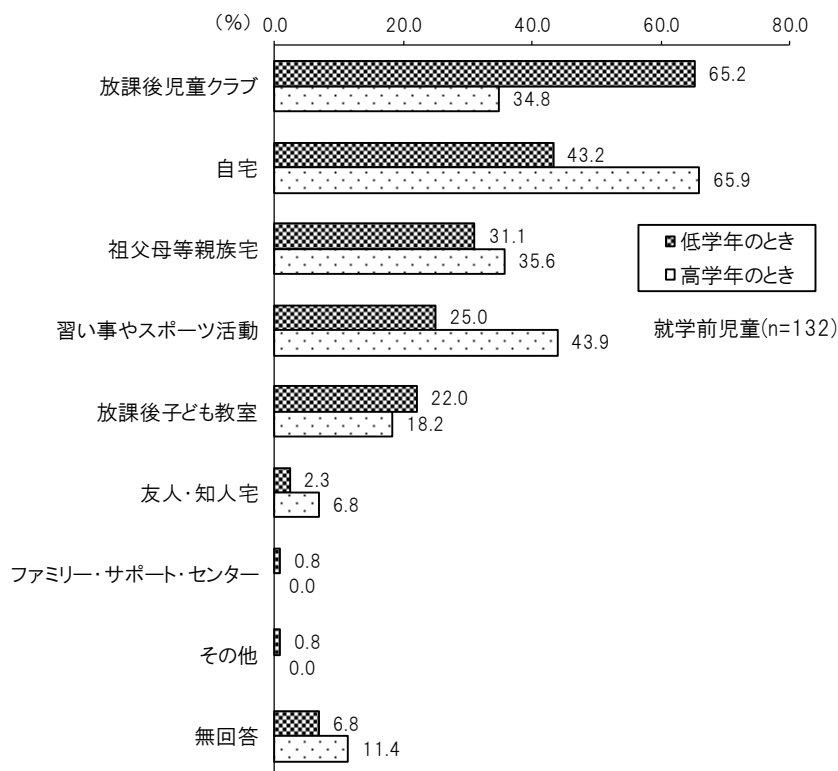
## 15 一時預かりなどの事業の利用希望

一時預かりなどの事業の利用希望は半数（50.4%）みられた。



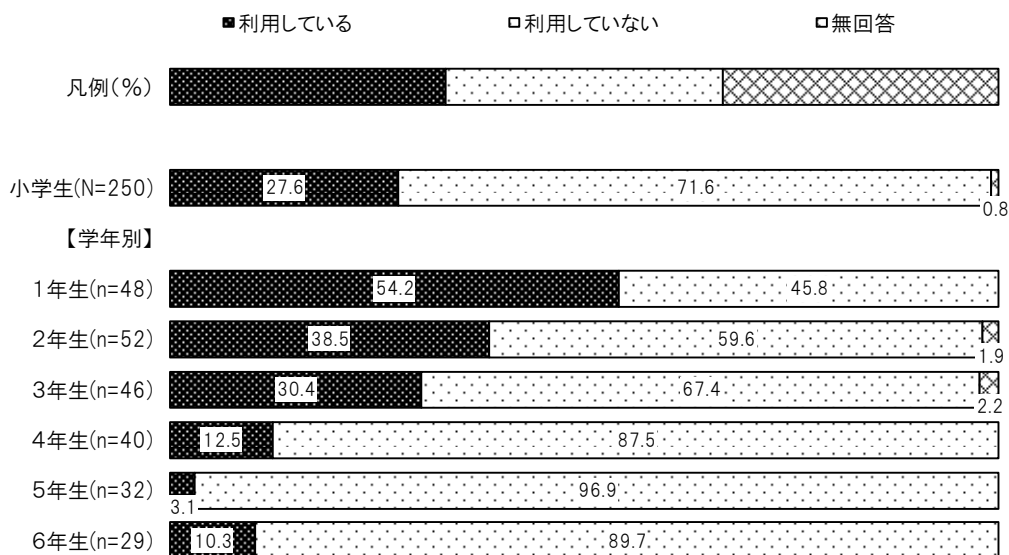
## 16 小学校入学後に希望する放課後の過ごし方

放課後の過ごし方について、低学年（1～3年生）では「放課後児童クラブ」の割合が65.2%と最も高く、次いで「自宅」（43.2%）が続いているが、高学年（4～6年生）になると、「自宅」（65.9%）の割合が最も高く、次いで「習い事やスポーツ活動」（43.9%）の割合が高くなっている。



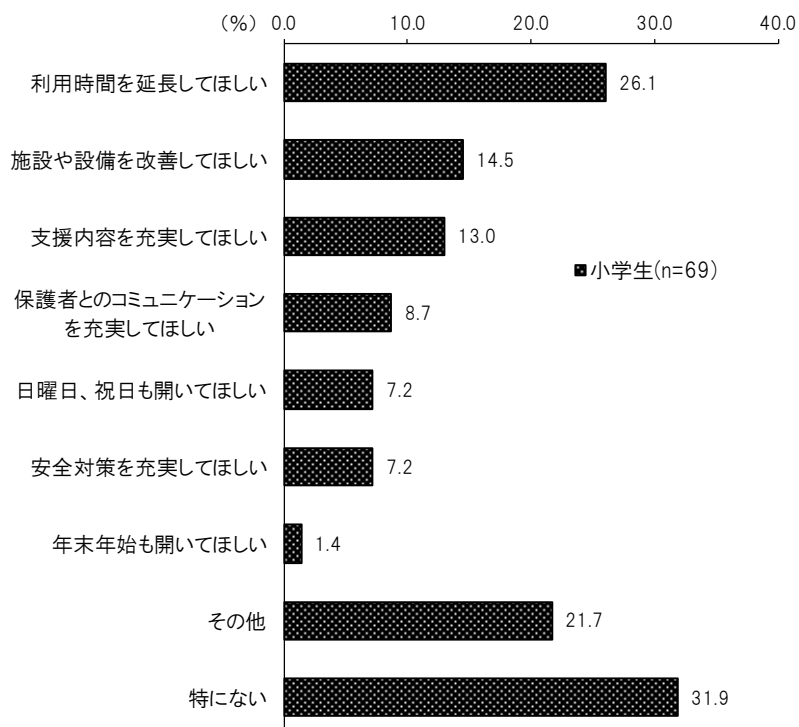
## 17 放課後児童クラブの利用有無

放課後児童クラブの利用については、「利用している」が27.6%、「利用していない」が71.6%となっている。



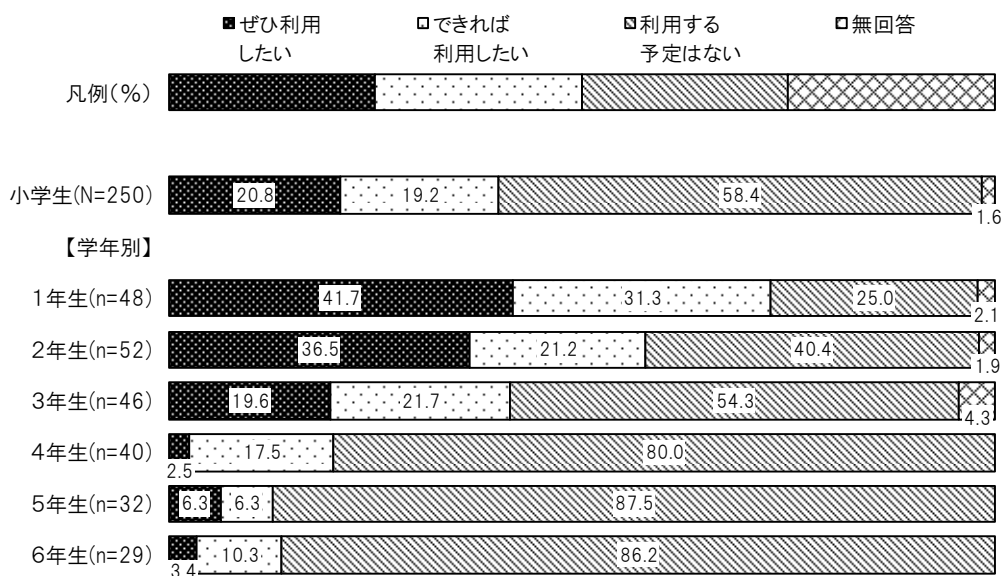
## 18 放課後児童クラブへの要望

放課後児童クラブへの要望については、「利用時間を延長してほしい」の割合が26.1%と最も高く、次いで「施設や設備を改善してほしい」（14.5%）、「支援内容を充実してほしい」（13.0%）の順となっている。



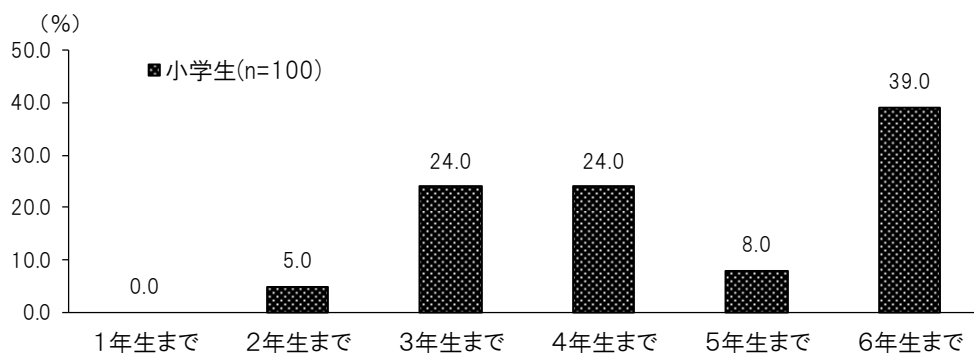
## 19 放課後児童クラブの利用希望

現在の利用にかかわらず、今後の放課後児童クラブの利用希望については、「ぜひ利用したい」が20.8%、「できれば利用したい」が19.2%、合計で4割（40.0%）が利用希望を示している。



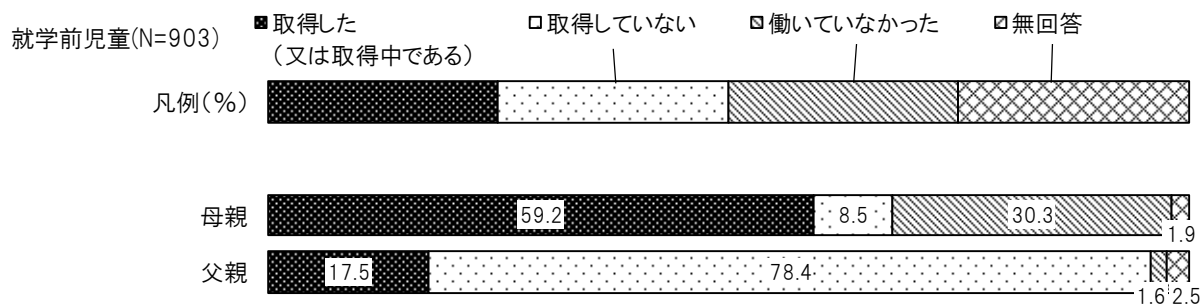
## 20 放課後児童クラブを利用したい学年

放課後児童クラブを利用したい学年については、「6年生まで」の割合が39.0%と最も高く、次いで「3年生まで」「4年生まで」（各24.0%）となっている。



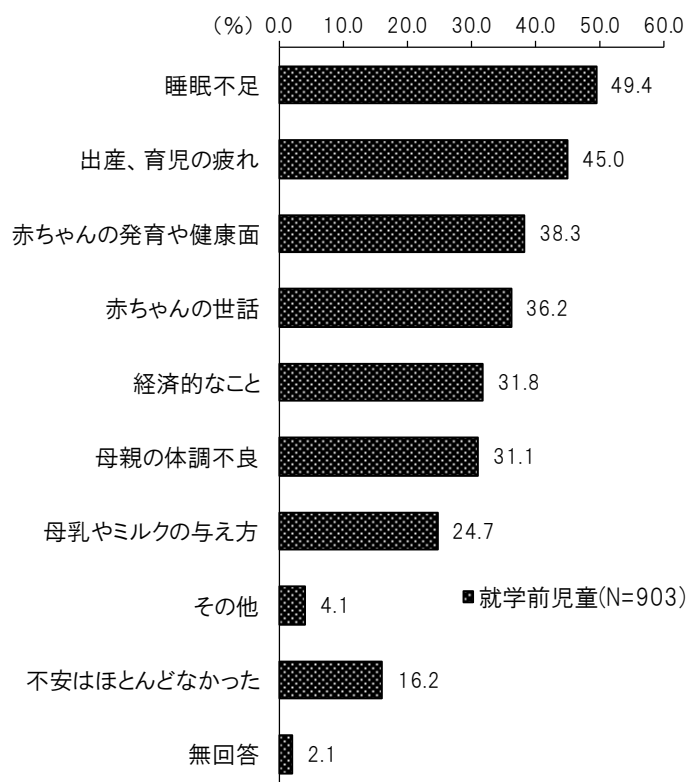
## 21 育児休業取得状況

母親が育児休業を「取得した（又は取得中である）」割合は、約6割（59.2%）を占めているが、父親で取得した割合は17.5%となっている。



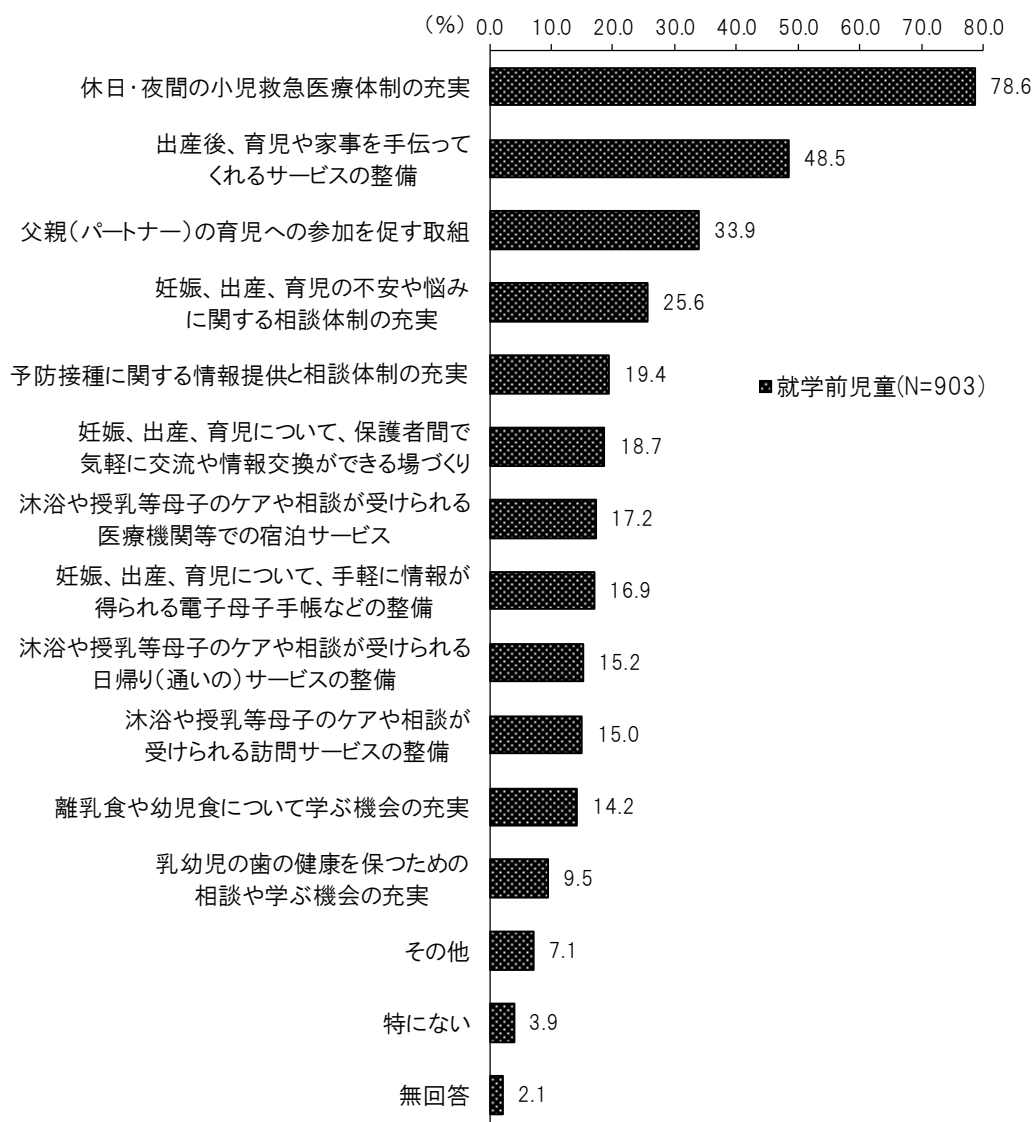
## 22 妊娠中や出産後の育児等への不安

妊娠中や出産後の育児等への不安については、「睡眠不足」の割合が49.4%と最も高く、次いで「出産、育児の疲れ」（45.0%）、「赤ちゃんの発育や健康面」（38.3%）、「赤ちゃんの世話」（36.2%）、「経済的なこと」（31.8%）の順となっている。



## 23 市が力を入れるべき母子保健事業

市が力を入れるべき母子保健事業については、「休日・夜間の小児救急医療体制の充実」の割合が78.6%と最も高く、次いで「出産後、育児や家事を手伝ってくれるサービスの整備」(48.5%)、「父親(パートナー)の育児への参加を促す取組」(33.9%)、「妊娠、出産、育児の不安や悩みに関する相談体制の充実」(25.6%)の順となっている。

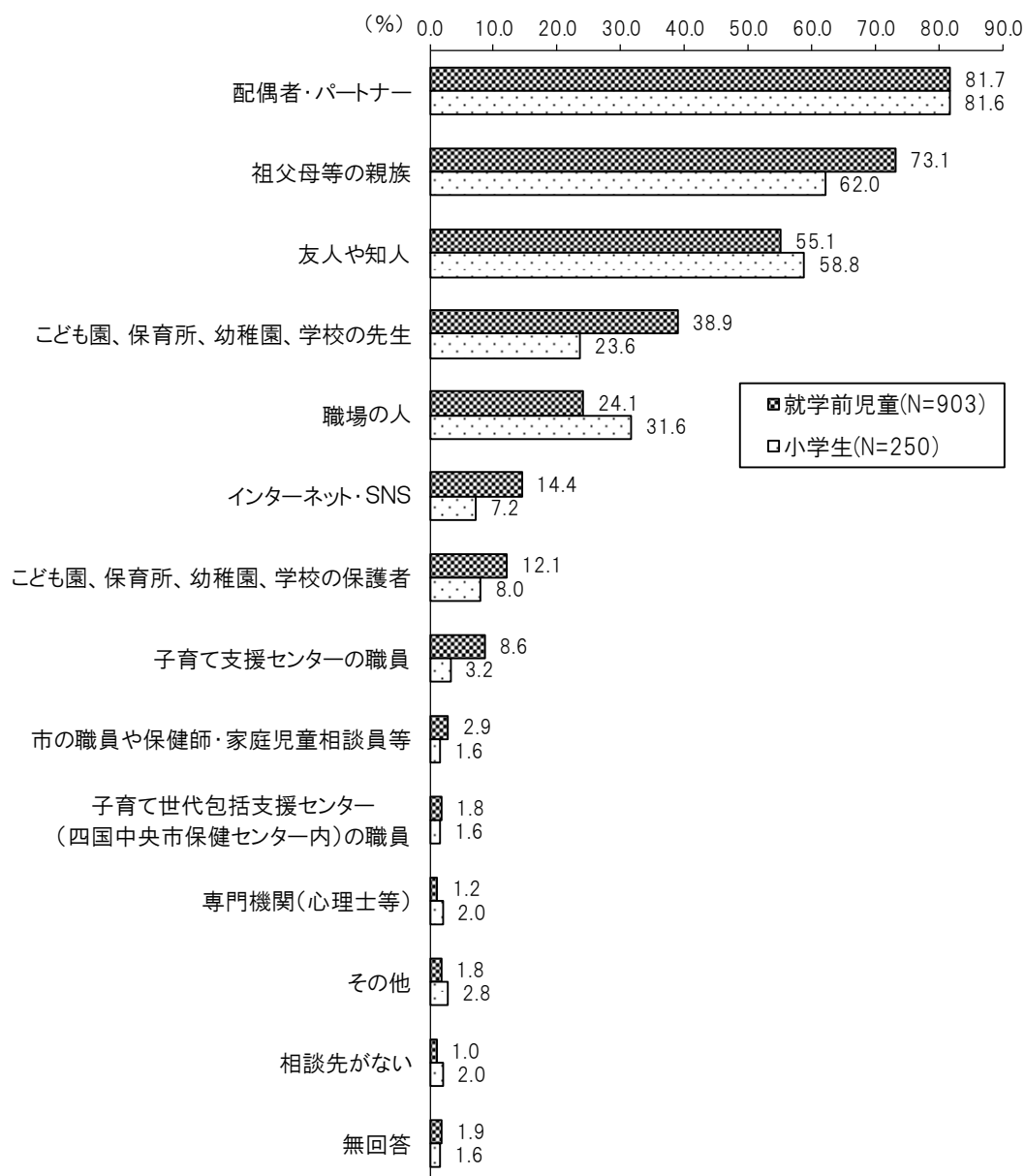




## 24 子育てに関する相談先

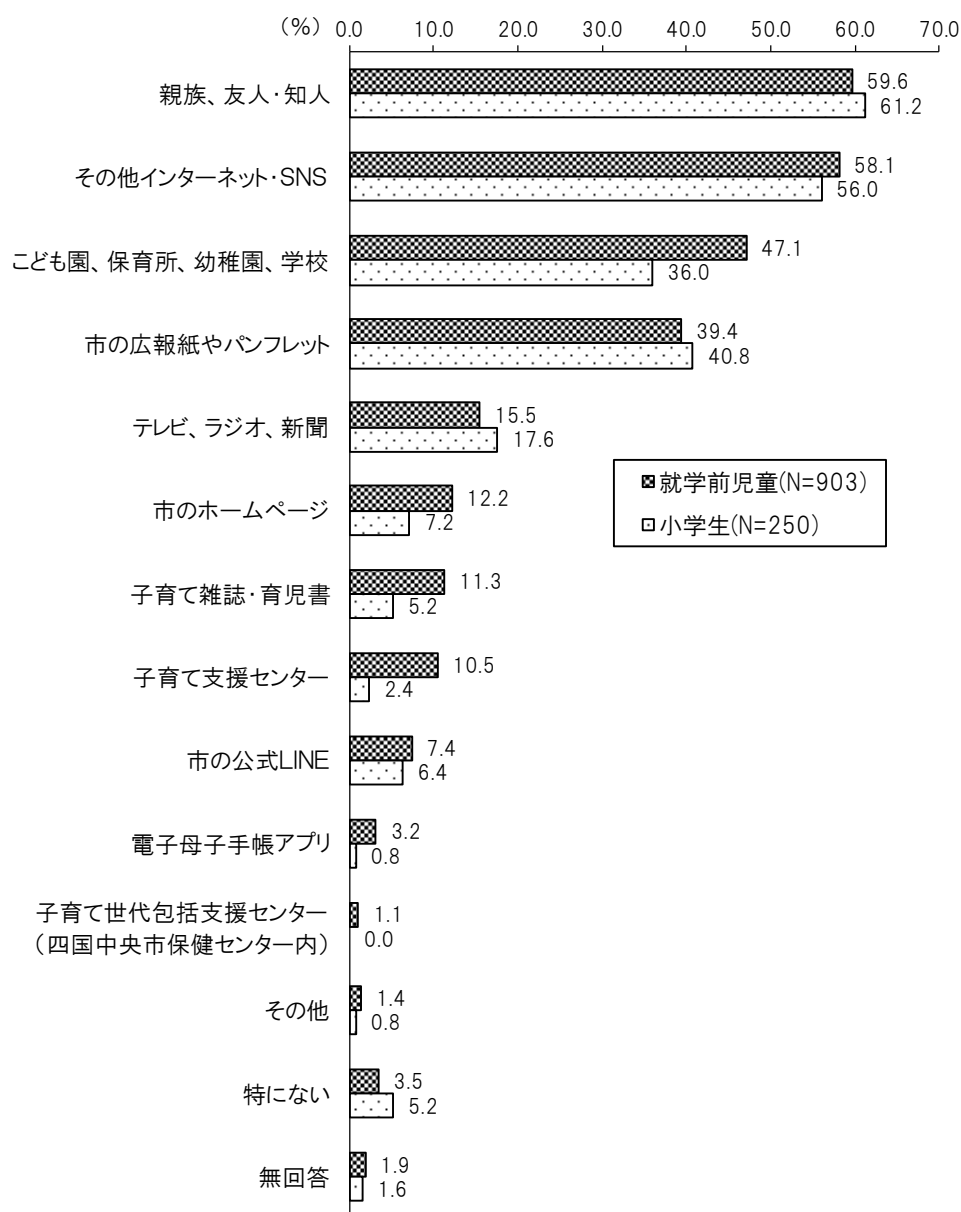
子育てに関する相談先については、就学前児童、小学生保護者ともに、「配偶者・パートナー」「祖父母等の親族」「友人や知人」の割合が高くなっている。

就学前児童保護者では、特に「祖父母等の親族」「こども園、保育所、幼稚園、学校の先生」「インターネット・SNS」などの割合が小学生に比べて高くなっている。



## 25 子育てに関する情報の入手先

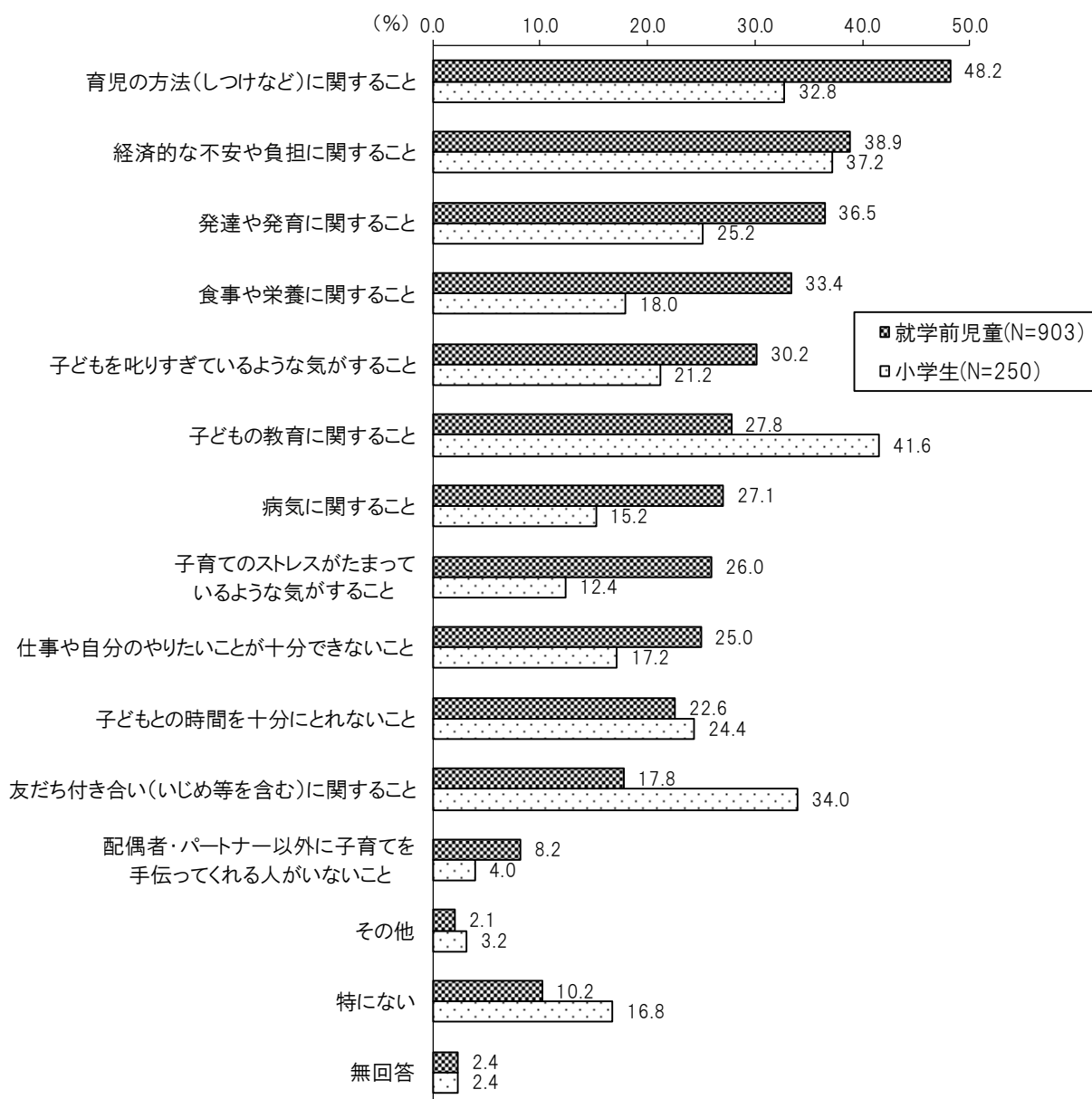
子育てに関する情報の入手先については、就学前児童保護者の場合、回答割合が高い順に「親族、友人・知人」「その他インターネット・SNS」「こども園、保育所、幼稚園、学校」「市の広報紙やパンフレット」の順となっており、特に「こども園、保育所、幼稚園、学校」の割合は小学生を大きく上回っている。



## 26 子育てに関する悩み

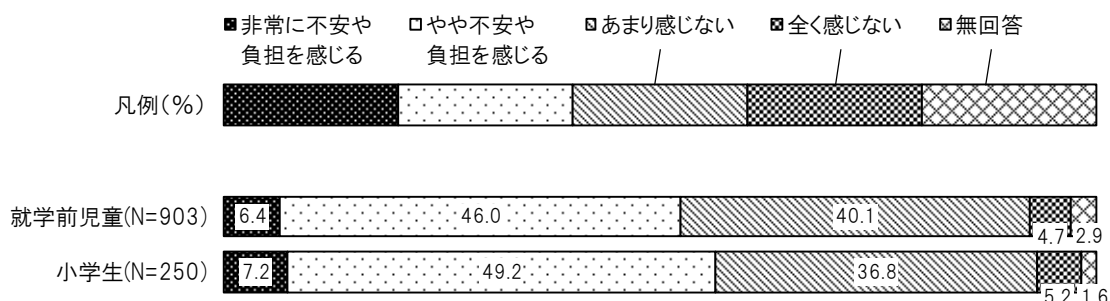
子育てに関する悩みについては、就学前児童保護者の場合、回答割合が高い順に「育児の方法（しつけなど）に関すること」「経済的な不安や負担に関すること」「発達や発育に関すること」「食事や栄養に関すること」「子どもを叱りすぎているような気がする」となっており、多岐にわたっている。

小学生保護者の場合は、特に「子どもの教育に関すること」「友だち付き合い（いじめ等を含む）に関すること」の割合が就学前児童を大きく上回っている。



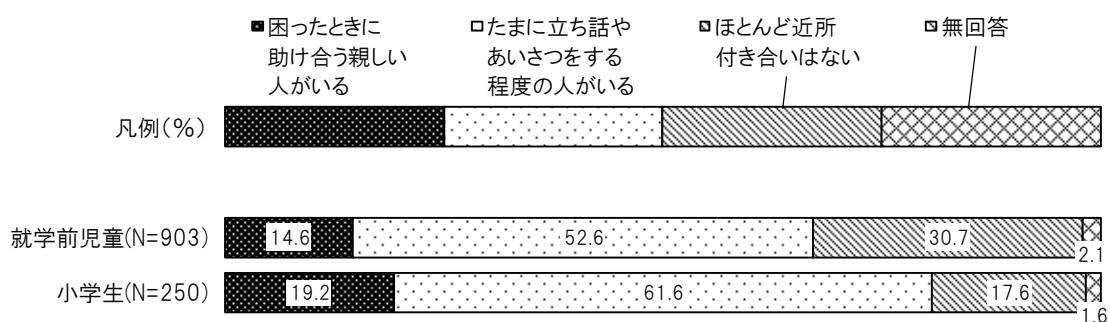
## 27 子育てに関する不安や負担感

子育てに関して『不安や負担を感じる（合計）』割合は、就学前児童、小学生保護者ともに、半数以上を占めている。



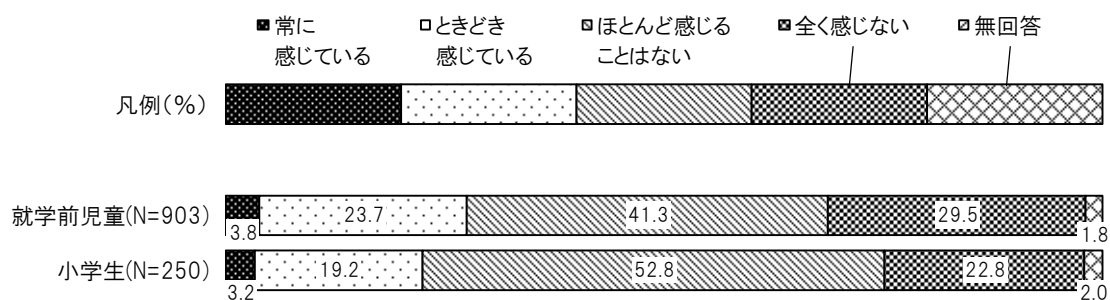
## 28 近所の人との付き合い程度

近所の人との付き合い程度について「困ったときに助け合う親しい人がいる」割合は、小学生保護者で19.2%と、就学前児童の割合を上回っている。一方、「ほとんど近所付き合いはない」割合は、就学前児童保護者で30.7%と、小学生の割合を大きく上回っている。



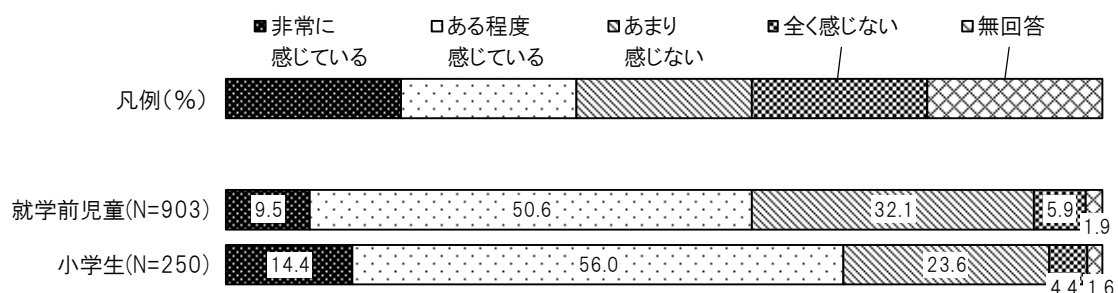
## 29 孤立感

孤立については、就学前児童、小学生保護者ともに、およそ4人に1人が感じている（『感じている（合計）』）。



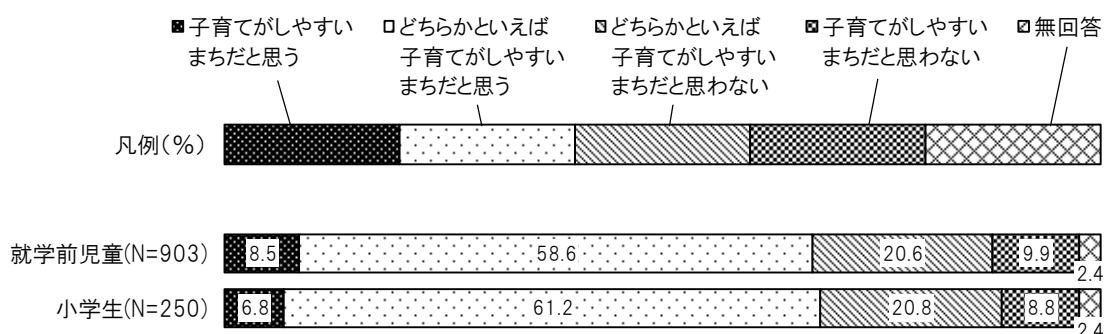
### 30 地域の人や社会からの支援意識

地域の人や社会からの支援意識については、就学前児童保護者の6割（60.1%）、小学生保護者の7割（70.4%）が『感じている（合計）』と回答している



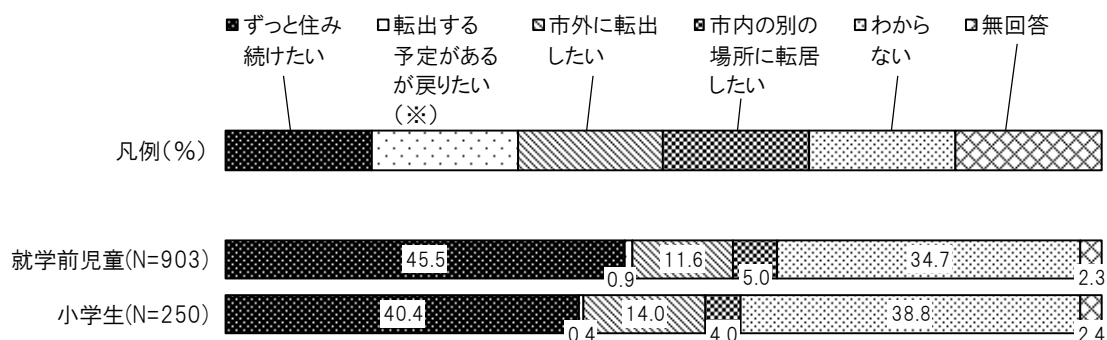
### 31 子育てのしやすさ

子育てのしやすさについては、就学前児童、小学生保護者ともに、約7割が『子育てがしやすい（合計）』と感じている。



### 32 永住意向

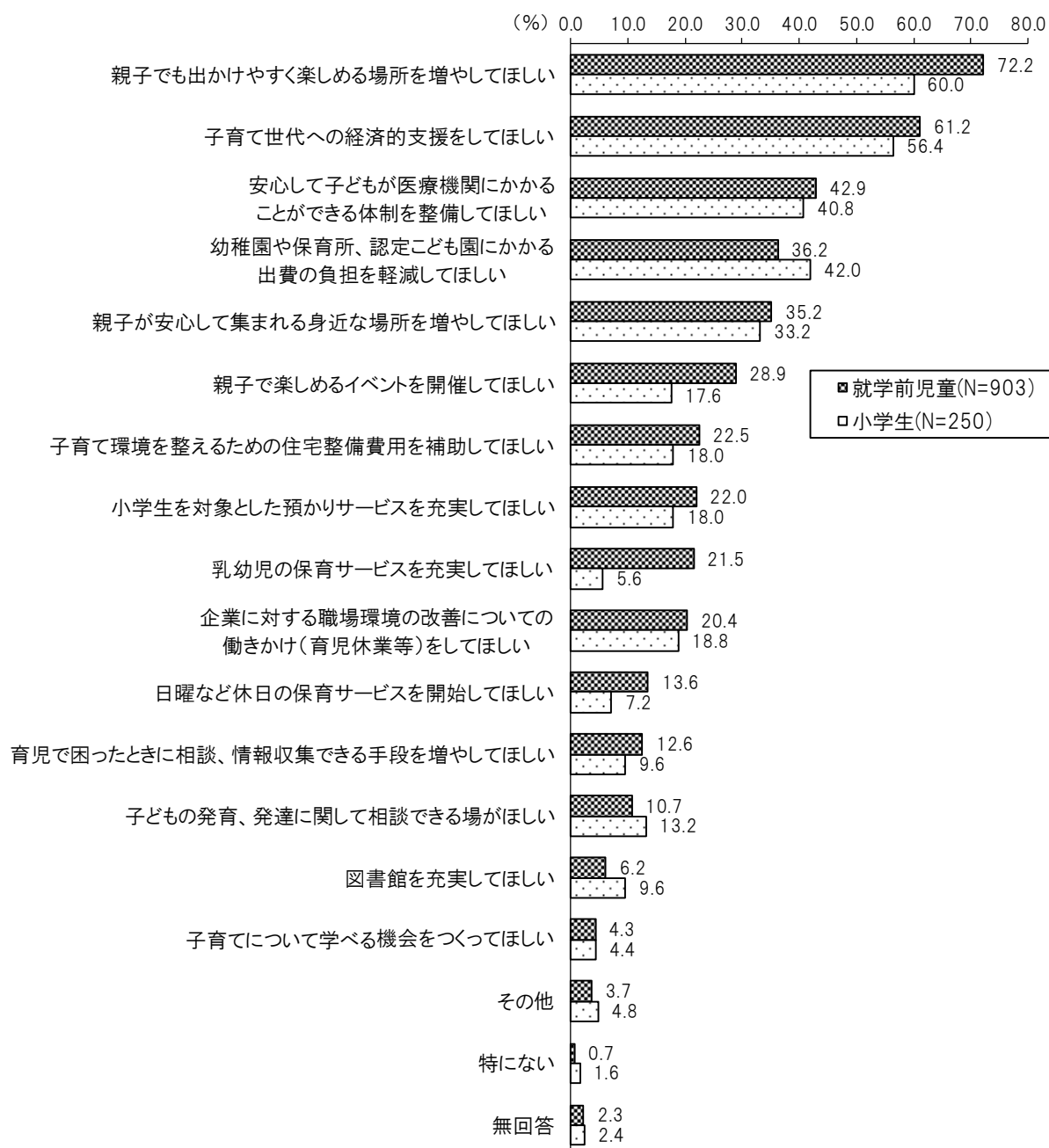
永住意向については、就学前児童、小学生保護者ともに、4割以上が「ずっと住み続けたい」と回答している。



### 33 子育てしやすいまちにするために必要だと思う支援

子育てしやすいまちにするために必要だと思う支援については、就学前児童、小学生保護者ともに、「親子でも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」「子育て世代への経済的支援をしてほしい」の割合が高くなっている。

就学前児童では「親子でも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」「親子で楽しめるイベントを開催してほしい」「乳幼児の保育サービスを充実してほしい」の割合が小学生を大きく上回っている。



注：「幼稚園や保育所、認定こども園にかかる出費の負担を軽減してほしい」の選択肢は、小学生では「小学校にかかる出費の負担を軽減してほしい」となっている。

四国中央市 子育て支援に関するアンケート調査報告書  
－ 概要版 －

---

発 行 / 令和6（2024）年7月  
発 行 者 / 愛媛県 四国中央市 こども家庭課  
〒799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6番55号  
電 話（0896）28-6027  
メー ル kosodatekikaku@city.shikokuchuo.ehime.jp

---